

地域6次産業化—

育てよう元気の芽

地元の農林畜産物などを活用し、農業と他産業が連携して進める地域6次産業化。新たな製品やサービスを生み出そうというこの取り組みの最新情報を皆さんにお知らせします。

■問い合わせ＝本庁元気戦略室（内線 471）



2.7 昨年につき「おやつフェスティバル」大盛況！

市と市地域6次産業化推進チームは2月7日、昨年に続き2回目となる奥州食の黄金文化祭2016「おやつフェスティバル」をプラザイン水沢で開催しました。市産食材を使用したおやつを味わってもらい、食を通じて本市の知名度アップを図ろうと、民間事業者と「黄金プロジェクトチーム」を組織し企画した同フェス。昨年より3店舗多い36店舗が出店し、商品も70種類増えて約200種類のおやつが並びました。

地元の米粉や卵、果物などを使った大福やケーキなどおやつの販売のほか、おやつ体験教室や地元人気キャラクターとの握手会、ステージショーなどを行い、昨年を超える4,500人の来場者でにぎわいました。

市地域6次産業化推進チームの後藤大助リーダーは「奥州市にはこんなにおいしいものがあるんだと気付いていただけたと思う。今日味わったおやつを皆さんの周りにも広めていってほしい」と、大盛況の同フェスを通じた本市の食の魅力の発信に期待を込めました。



①子どもから大人までおやつに夢中 ②おやつ体験教室では和菓子作りに挑戦 ③地元人気キャラクターも参加した“おやつまき”

2.20 食の黄金文化・奥州料理コンクールで初の連覇

第4回食の黄金文化・奥州料理コンクール表彰レセプション（同コンクール実行委員会主催）が2月20日、プラザイン水沢で行われました。希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催に向けて「前沢牛をメインに市産食材を使ったおもてなし料理」をテーマとした今回。これまでの学生・若手料理人の部に加えて一般の部が新設され、それぞれ58人、1団体と4人の応募がありました。

この日、水沢第一高校で行われた最終審査には、学生・若手料理人の部に10人、一般の部に1団体と4人が進出。審査員が見守る中、調理に臨みました。

審査の結果、学生・若手料理人の部は嶋垣萌恵さん（三重県立相可高3年）が昨年に続いて最優秀賞に輝き、コンクール初の連覇を達成。一般の部では江刺区愛宕の佐々木平子さん（55）が最優秀賞を獲得しました。

佐々木さんは「うれしいの一言に尽きる。地元の江刺りんごもPRしたいと思い作った」と喜びを語りました。佐々木さんの料理は、国体会場で販売される予定です。



①最優秀賞の嶋垣萌恵さん（左）と佐々木平子さん ②③最終審査に臨む水沢第一高3年の鈴木寛太さんと高橋研二さん ④嶋垣さんの「前沢牛の味噌胡麻焼き一岩手の恵みー」 ⑤佐々木さんの「前沢牛の江刺りんご巻きまき丼」 ⑥参加者全員で健闘をたたえ合った



手帳の使い方や時間管理の方法を情報交換した「手帳カフェin奥州」

水沢保健センターの一室で開かれた「手帳カフェin奥州」。佐藤有斐さんは、子連れのママたちとこやかに談笑する。25歳で結婚し、仙台市で暮らし始めていた有斐さん。長女の出産を機に、夫の実家で暮らし始めた。母親になって「奥州市には子育てしやすい場所や制度があるのに知られていない」と実感。「自分も知らないし教えた」とインスターネット上のSNS「フェイスブック」に「おうしゅう子育て情報T.O.A.M.O」のページを立ち上げ、平成26年8月か

ら子育て情報を発信している。「子育て世代が自由にいろいろな情報を投稿して共有できれば——」とスタッフ以外の投稿も歓迎。一方で、27年3月からはフェイスブックを見ない人向けに、3カ月に一度の情報紙発行も始めた。気軽に交流や情報交換できるイベントも企画する。手帳カフェはその一つだ。「奥州市で子育てしたいと思う人が増えて、移住につながればうれしい」と語る有斐さん。その瞳には、親子が楽しく暮らす奥州市が映し出されている。

※ソーシャルネットワーキングサービスの略で、登録した利用者が交流できるWebサイトの会員制サービス

〈今月の表紙〉



1,000年以上の歴史を持つ東奥の奇祭「黒石寺蘇民祭」が2月14日夜から15日早朝にかけて、同寺境内などで行われました。下帯姿の男衆が無病息災や五穀豊穡を祈願し、瑠璃壺川（山内川）の水で身を清める「裸参り」で始まる伝統の行事に臨みました。

写真は15日午前5時頃から行われた祭りのクライマックス「蘇民袋争奪戦」の1こま。厄災を免れるとされる蘇民袋をめぐり、約140人の参加者が激しい奪い合いを繰り広げました。

【関連記事：13ページ】

キラリ輝く
奥州人
29

佐藤有斐さん（31歳）
江刺区田原字後田

情報発信と交流で 楽しい子育てを応援



さとう・あい◎昭和60年、江刺区玉里生まれ。「おうしゅう子育て情報T.O.A.M.O」代表。個人としても水沢保健センターで月1回「布おむつの会」を開催している。娘2人と夫、夫の父母と祖母の7人家族

市民と行政をつなぐ情報紙

広報

おうしゅう

Vol.121

Public Relations Magazine
Oshu City

2016

3

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 地域6次産業化—育てよう元気の芽
- 4 【特集】「奥州市」誕生10周年記念式典
- 8 狂犬病予防集合注射を実施します
おもっちニュースレター
- 10 軽自動車税は4月1日が基準日です
姉妹都市掛川だより
- 11 固定資産税に関する縦覧や閲覧
百歳おめでとう
- 12 大使の横顔 Oshu Ambassador
- 13 奥州冬祭り グラフ
- 14 奥州の市民劇 グラフ
- 16 ILC希望のひかり
- 17 市政ズームイン
- 18 まちの話題
- 20 夢トーク
青春讃歌
- 21 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 22 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 23 子そだて広場
子そだて行事予定
- 24 情報あらかると
- 28 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市